

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 20 年 9 月 24 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 12 時 30 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 20 年度第 6 回)		
出席者	田中明会長、石坂副会長、荒木委員、石黒委員、岩木委員、岡村委員、木内委員、酒井委員、竹内委員、竹田委員、田中正雄委員、中村委員、宮崎委員、宮島委員、山浦健太郎委員、山浦英雄委員、山浦正嗣委員 (欠席委員)石井委員、金井委員、西川委員 (事務局)古川まちづくり協働課地域振興政策幹、小宮山まちづくり協働課課長補佐		
会議次第			
1 開会(古川まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ(田中会長) 本日は、わがまち魅力アップ応援事業の追加申請分の選考審査を行う。よろしくお願ひしたい。			
3 協議事項			
(1) わがまち魅力アップ応援事業選考審査			
ア提案事業プレゼンテーション			
〔個性あるふるさとづくり応援事業〕			
提案事業 1 諏訪形安全安心な地域づくりを進める事業			
事業概要			
【事業の目的】			
魅力ある地域づくりのための事業を継続的に行なうことにより、区民の一体感の醸成と区民の地域づくりの意識の高揚を図る。			
【事業の効果】			
地域自ら考え、行動することで、自立と協働の住民自治の確立を目指す。			
【事業費等】			
総事業費 1,656,500 円 うち補助希望額 800,000 円			
主な質疑・事業申請者からの回答			
(委員) 子供たちが安心して川遊びができるような施設は、計画しているか。			
(事業申請者) 水辺公園横のアカシヤの林のそばで、遊具で遊べるようになっている。自治会でも進めていきたい。			

(委員) どのように組織化するのか。

(事業申請者) 自治会に入っていない方も特別扱いせず、特に子供たちは一緒に進めていきたい。なるべく自治会に入っていていただくよう呼びかけていきたい。

(委員) 公民館歴史パンフレットとあるが、諏訪形の公民館の歴史ということか。

(事業申請者) 調べていくうちに、諏訪形地区の江戸時代からの歴史もわかった。また公民館改築の際には、歴史がわかるということで地層も調べていただき、諏訪形全体の歴史パンフレットにしようという事になった。

(委員) 坪 8 事業という遊休農地の活用の事業が計画されているが、内容を詳しく知りたい。遊休農地を家庭菜園に利用するという事なのか。

(事業申請者) そうだ。8 坪で、15 家庭分予定しており、自治会で苗を植えられるように手入れをして貸し出す。

提案事業 2 神畑の歴史を記録に残す事業

事業概要

【事業の目的】

かつて昭和 30 年代までは農村地帯であった神畑地区は、急速に住宅化・商工業化がすすみ、河川・池・山林・田畑が変容をとげている。先人たちが生活した文化や習慣を記録にとどめ、神畑区史として後世に残す。また、収集した資料は上田市にとって貴重な資料であるので、保管庫に保存する。

【事業の効果】

先人達が人力により作った多くのため池は埋められ、かつての水田の中に広い幹線道路ができ、田畑や山林は大きく変容している。しかし、ほとんどの住民はその実態を知らない。これらの事実を今記録して、散逸している資料や写真をまとめることで、事実を後世に伝えることができる。

【事業費等】

総事業費 579,000 円 うち補助希望額 509,000 円

主な質疑・事業申請者からの回答

(委員) 物置を改修するという話だが、大きさはどのくらいか。

(事業申請者) 大きさは 5 坪くらいだ。木造で土壁になっている。西側に窓があるが、これを改修して光が入らないようにする予定だ。

(委員) 保管庫の資料は、我々も閲覧できるのか。

(事業申請者) 川辺時代の資料は博物館に預けてある。ゆくゆくは江戸時代のものを一箇所に集めて、こちらで閲覧できるようにしたい。

(委員) これだけ膨大な資料を 2 年ちょっとで発刊することができるのか。

(事業申請者) 3 年前に神畑の記録を残す会という会を立ち上げている。毎月 1 回会議を開き、資料を集めてきた。実際の活動はかなり進んでいる。

(委員) この事業は何名で構成しているのか。

(事業申請者) 10名で構成している。

〔特色あるまちづくり応援事業〕

提案事業 1 火伏せ祭り(井戸かえ)の復元

事業概要

【事業の目的】

江戸時代より(記録では天保期 1830)現在まで続けられている。しかし、上下水道が完備した現在では、「火伏せ祭り」の実態については参加する人々も良く知らない。火伏せ祭りの復元は、水の大切さを認識することができる。

【事業の効果】

現在では、蛇口をひねると簡単に水を得ることができるが、先人達がいかに苦勞をして飲料水を口にしかかを知ってもらえることができる。

【事業費等】

総事業費 267,000 円 うち補助希望額 217,000 円

主な質疑・事業申請者からの回答

(委員) 区民の皆さんや一般の方も見学できるのか。

(事業申請者) 区民の皆さんだけでなく、大勢の方に見学していただけるようにしたいと思う。

(委員) 井戸の深さは何メートルくらいあるのか。

(事業申請者) 15メートルから 20メートルくらいある。初めに水を出して、水深が腰のあたりになったら人が入り掃除をする。

(委員) 井戸仲間は 12 あるということだが、今回の申請はそのうちの中組だけか。

(事業申請者) 井戸かえの行事がなくなってしまったので、他ではやっていない。私たちが再現し、皆さんに広く知っていただきたい。

(委員) 長年使っていない施設の安全対策は考えているのか。

(事業申請者) しっかりした井戸を使用する。酸欠にならないよう、検査をして安全を確かめたい。

(2) 公共交通活性化プランのアンケート結果について(担当課:地域交通政策課)

【報告要旨】

資料「地域協議会におけるアンケート結果の集計」により担当課から報告

アンケートの質問内容

1. バス路線・ダイヤ等についての意見・要望
2. 公共交通利用促進の方策について

「乗って残そう! わが地域の公共交通」

(いかにして地域でバス路線・鉄道を守るか)

3. その他

【主な質疑等】

(委員) ノーマイカーデーは現実に難しい。市ではどのように行っているのか。

(担当) 基本的に毎月第2・第4金曜日はノーマイカーデーとして庁内メールで通知をしている。協力要請なので、全員ではない。

(委員) 少子高齢化の時代に、高齢者の運賃無料化はどのようなだろうか。

(担当) オレンジバスについては、高齢者福祉センターの送迎用なので無料としている。しかし、他の路線バスとの兼ね合いもあるので、有料化も考えている。

(委員) 自転車道が上田にはないので、考えていくべきだ。

(委員) 観光面でも利用しやすいよう考えていくべきだ。

(担当) 平成18年、19年と別所線の利用者数が1万人ずつ増えている。バス観光の中に、別所線の乗車を組み入れていただくようお願いし、効果がでている。今後も進めていきたい。

(3) わがまち魅力アップ応援事業 提案事業審査

主な意見等

〔個性あるふるさとづくり応援事業〕

提案事業1

(委員) 事業をやる事によって、自治会の住民がまとまる手段になる。自治会の未加入者も増えているので、受益者負担についても考える必要がある。

提案事業2

(委員) 地域の歴史をまとめることで、地域への愛着や連帯感が出てくると思う。

〔個性あるまちづくり応援事業〕

提案事業1

(委員) 伝統的な行事なので、神畑全体として自治会の提案に含めたほうがいいのではないか。

(委員) 広く市民の皆さんが見学できるのならいいのではないか。

(委員) これを機会に、他の井戸仲間も連合していけたらいいと思う。

決定事項

〔個性あるふるさとづくり応援事業〕

提案事業1及び2については、条件付採択とし、付帯意見をつけて市長へ意見書を提出することとする。

〔個性あるまちづくり応援事業〕

提案事業 1 については、条件付採択とし、付帯意見をつけて市長へ意見書を提出することとする。

5 その他

・次回会議開催について

平成 20 年 10 月 22 日（水） 9 時 30 分から 開催予定

閉 会